

### ※アメリカ研修報告…Vol. 3

#### 【Lander Veterinary Clinic】

テキサスの後ツアー参加のみなさんと別れてカリフォルニアに移動しました。目的は 3 つありました。①H7 年に最初に渡米した時にお世話になった獣医師の Dr. Gary Daley さんのお墓参り ②VAS (Valley Agricultural Software) で Cloud 型の DC305 の研修 ③CrossBreeding (ProCross) の受精卵の輸入の交渉。この 3 つでした。

写真の Lander Veterinary Clinic は新築移転していました。ここには私の他、佐竹社長と現在消化器外科医になって札幌在住の西越先生が新人 2 年目の時にそれぞれ二週間お世話になったクリニックです。Dr. Gary Daley さんは私にとって臨床獣医師として特別影響を与えていただいた方の一人で 7 年前に 61 歳という若さで他界されていました。なかなか機会がありませんでしたが、いつになるかはわかりませんが必ずお墓参りをさせていただきたいと考えていまして、今回念願が叶うことができました。

予定外でしたが、この Lander Veterinary Clinic でも OPU-IVF を行っていて、訪問した時にちょうど OPU を行っていたので見学させていただくことができました。

培養系はブラジルの会社に委託していましたが、種雄牛生産用と一般の酪農場や肉牛牧場の OPU を行っていました。OPU 担当の女性獣医師の Dr. Lori Lenihan さんにカリフォルニアの OPU-IVF の現状を話していただきました。

大きな農場では毎週 TPI 上位の牛 20 頭の育成牛のドナーから OPU を行っていて、その 80% は妊娠牛とのことでした。ホルスタインの OPU は妊娠牛で行うことが高い発生率を維持するポイントということでした。



大規模農場のミルクパールの様な大きさのクリニックです。



土日以外はスケジュールが詰まっています。



Dr. Lori Lenihan さん



左の写真は Lori さんの診療車ですが、女性でもフルサイズのピックアップトラックに乗っています。

【体外受精卵産子第1号、2号が無事に誕生しました!!】

今年の2月に奥獣医師が移植し妊娠を確認していました私たちが作った体外受精卵の子牛が2頭産まれました。11/9(双)と11/21(双)に黒毛和牛(と場由来・無登録)の子牛が無事に誕生しました。因みに今回の精液は「美津照重」でした。



の方は産まれた時には少し元気がありませんでしたが、その後は順調に発育してそれぞれ1週間後にメスは20万円、オスは39万円で販売することができました。以前にも紹介しましたが、黒毛和牛無登録の初生は市場でF1扱いになりますので、すぐに販売することが可能です。現在も定期的にと場由来の黒毛和牛無登録の体外受精卵を作っていますので、興味のある方は是非ご一報下さい。凍結卵もそれなりに在庫してあります。精液は「美津照重」と「福之姫」の2種類です。

大きさも通常の和牛の大きさと、オスF1と比べて、メスで7~8万円、オスで20万円以上高く売れたことになります。移植料金と受精卵代金を差し引いても十分に、利用する価値はあると思いますがいかがでしょうか? ※ポイントは生後1週間で市場に出せるというところです。

現在、取り組んでいます広島大学の性判別精液の技術が安定してきましたら、オスの価格を計算して得ることができるようになります。子宮の生産性という考え方がより現実的になるということを意味すると私は考えていますが、いかがでしょうか…?

.....  
・ラボで作った体外受精卵産子1号が誕生しました。またひとつ前に進むことができました。牛歩の歩ですが、確実に技術が安定してきています。技術的には細かいことはたくさんあるのですが、そのひとつひとつが実を結んだと考えています。今回世界と日本の受精卵の状況を紹介しましたが、みなさんの日常の営農にとって身近な技術になるようにと毎日取り組んでいるところです。

・現在OPUで採取した卵子の委託培養を行っていますが、新たな取り組みの1つとして、今回根室管外の2カ所の農場に新鮮卵を移植用のストローに詰めて、細胞培養輸送機で発送しました。明日の午前中に農場に届いて移植することになっています。本当はもっともっとTHMSの顧客のみなさんに利用して欲しいと考えて取り組んでいる技術なので、正直複雑な気持ちです。

みなさんからの依頼・問い合わせをお待ちしています。